

三木市男女共同参画センター情報誌

~しよう

Coilabration
コラボレーション
(共同、協働)

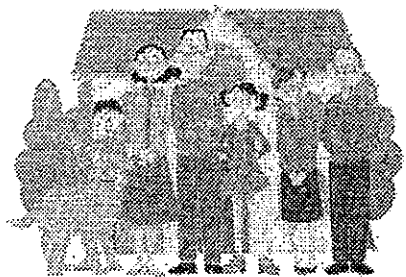
みんなで
男女共同参画社会実現に向けて
活動しようよ!

第20号
2012春



男女共同参画社会の実現をめざし

「三木市男女共同参画プラン(H23~29)」が策定されました



女性の人権の確立

男女共同参画
による社会づくり

あらゆる分野へ
「参加」も「参画」もできる
環境づくり

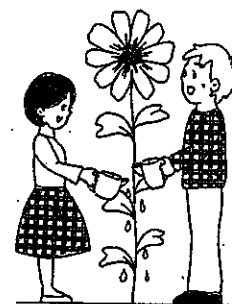


次ページに続きます。また、詳細は三木市のホームページをご覧ください。

「三木市男女共同参画プラン」

男女がお互いの人権を尊重しつつ かつ対等に責任をにない
個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」の実現をめざすための計画です

基本目標	主な具体的施策
男女共同参画社会を めざす 意識づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画への理解と意識改革のために、講座・シンポジウムを開催 ○市の審議会・委員会への女性の登用を促進 ○男女平等をめざす教育・学習の推進し、自主活動グループを育成・支援
男女が働きやすい 環境・条件づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な働き方ができるよう、事業主及び労働者へ育児・介護休暇を啓発 ○働く権利を保障するため、働く女性の交流機会づくり ○自営業・農業経営に、家族経営協定の普及
男女が共に築く 家庭生活と 地域社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○男女が共に育児・介護に関われるよう、育児・介護休業法の普及と男性の取得を推進 ○地域活動で、意思決定に参画する女性役員の登用を拡大 ○総合的な子育て支援として、保育サービス・アフタースクールを充実 ○高齢化の進展に対応した各種サービスを充実させ、ライフスタイルに応じた学習機会を提供 ○ひとり親家庭への相談・支援体制の充実と、障がいのある人への生活支援や就業相談・支援
男女の人権を尊重 した社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアを正しく読み解く力を育てる教育 ○配偶者等からのあらゆる暴力の防止と根絶のための啓発、DV 家庭への訪問と指導及び支援 ○セクシュアル・ハラスメント防止ため、冊子の作成、研修の充実 ○女性の健康と福祉充実のための学習・講座の実施や啓発と予防を推進 ○母子保健対策と支援体制を充実
国際的視点からの 男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解教育の推進や外国人に対する行政情報の提供

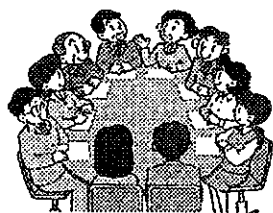


プランは 108 の具体的な施策を掲げ、組織改革や支援・啓発活動、情報の整備・提供、ネットワークの構築などが盛り込まれています。その一部を紹介しています。

上記プランを作成するために「男女共同参画に関する市民意識調査」を平成 22 年 10 月に実施しました。前回は引き続きその一部をご紹介します。全体は三木市ホームページで公開しています。(配布数 1500、回収率 54.3%)

地域活動において女性リーダーが少ない理由 (複数回答)

最も多い回答は「女性は家事・育児に忙しく地域活動に専念できない」(女性 52.6%、男性 38.5%) で、2位は「女性自身がリーダーの地位につきたくない」(女性 30.0%男性 31.1%) です。以下「女性リーダーは軽くみられる」「男性がついてこない」「女性に対する差別意識」「男性リーダーが慣習」との回答は女性の方が多く、男性に比べ差別意識を感じているようです。



DV(ドメスティック・バイオレンス)について (複数回答)

女性の経験者は 29.1%でした。具体的には「どなられたり、ののしられたりする」「身体的暴力」「誰に食べさせてもらっているんだと言われる」「性的行為を強要される」「交友関係や電話を細かくチェックされたりする」などです。体験者の約 3 割が「相談するほどのことでもない」「自分も悪い」等「相談できない・しなかった」と回答。しかし包丁などの刃物を突きつけるケースや、「相談したことがばれたら再び暴力を受けると思い怖くてできなかった」等、深刻なケースもあるようです。相談相手は友人 7.6%、親・親せき 7.6% で、公的機関への相談は少ない結果となっています。

女性のための相談室

毎週火・木 10 時～16 時

- 面接相談
(0794-89-2331 予約要)
- 電話相談
(0794-89-2354)



DVの相談に限らず気軽に悩みを相談してください。解決の糸口が掴めるといいですね。



三木市男女共同参画センターセミナー報告



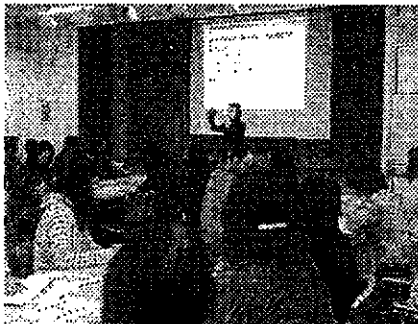
「女性のための起業セミナー」

～ネットワークと強みを活かす起業セミナー～

「起業するって、どんなこと？ 仕事はしたいけど、子育てや介護との両立は？」などと思っている女性の為に、一歩踏み出すヒントを知ってもらおうと、1月20日、県と三木市の男女共同参画センターの共催で「女性のための起業セミナー」が開催されました。参加者は、三木市内外から56名。講師である中小企業診断士でIT関連の知識も豊富な、宇田名保美さんの、体験談も交えながらの話に、皆さん夢中で聞き入っていました。

自分の強みを知って、それを生かしたビジネスアイデアの創出、なりたい自分をイメージすること、インターネットを活用したネットワークづくりの利点と気をつけなければならない点など、様々な角度からのアドバイスがありました。後半は、4～6人のグループに分かれ、それぞれの強み・弱み、今やっていること、やろうとしていることなどを話し合いました。自分で思う弱みが実は他人から見ると強みに変わること例えば、「年をとっている就職では不利だ」と思うことが、他人から見ると「年齢を重ねると経験や知識が豊富」に見えるとの例がでました。

このセミナーが、それぞれ前向きに将来のことを考えるきっかけになったようです。参加者からは「同じような考えを持っている人達と楽しくじっくり話げできた」「このような機会がもっと欲しい」などの感想がありました。



お父さん応援講座「親子(父と子)のふれあいタイム」

～カラダ&身近な Goods で遊ぼう～

子どもたちの人気者の忍者が教育センターにやってくるというので、3月10日子どもを連れて行ってきました。今回はお父さん応援講座ということで、たくさんのお父さん、お爺ちゃんと子どもたちが参加していました。

講師はNPO生涯学習サポートあそびクリエイター「よしえもん、こと義仁さん」。忍者の格好で迎え入れてくださったよしえもんさんに子どもたちはそれだけでも大喜びでしたが、本題の座布団遊び(修行?)が始まると、会場は奇声を発する子どもたちで大変なことになっていました。お父さん、お爺ちゃんも昔を思い出し、子どもより本気で修行に取り組んでいた気がします。

座布団が手裏剣に、刀に、雑巾に、ハンバーガーに。ストローが笛に。家にある身近なものでこんなに遊べるんだな～と感心しました。私としては、家ではさすがに座布団を投げたりするのはお断りですが、座布団を使った簡単な体操ならいいかな～と思いました。

最後の30分はお父さん、お爺ちゃんたちだけの「お父さん座談会」が始まり、最近嬉しかったことなどを和気あいあいと話していました。その様子を見て思ったこと、それは「お父さんの方が子育てのこと興味あるやん！」ってことです。世のお父さんの多くは子育てに関わる時間が少ないだけで、本当は子育て名人なのかもしれません。お母さんたち～！安心してお父さんに子供を任せてあげてください～い。



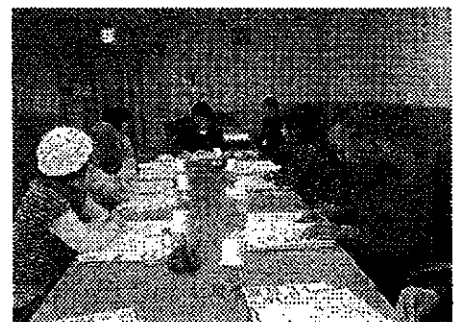
姫路市男女共同参画センター「視察研修レポート」

2月29日午後、三木市男女共同参画センター運営委員7名で姫路市男女共同参画センター「あいめっせ」へ視察研修に行きました。センターは姫路駅の近くにある「イーグレ(白鷺)ひめじ」という商業施設の3階部分で事業を行っています。全体に木の温もりが感じられる造りになっていて、図書情報コーナーが広いことや、一時保育室の床暖房設備にはびっくり。充実した数々の施設には少しうらやましい気持ちになりました。

啓発講座の開催や相談事業など、活動内容は私たちとほとんど同じですが全てにおいて規模が違いました。その中の講座の一つに大変興味を持ちました。それは50歳以上を対象にした「認知症予防セミナー」ですが、30人の定員に100人の応募があったそうです。自分が今その対象年齢にいるからかも知れませんが、三木市でも考えたいテーマだと思いました。

情報誌は、男女共同参画センター情報誌「ウェーブレット」、センター便り「あいめっせ」、図書情報「ピュント」ときめ細かく発行されていました。

視察研修を終えて、人口54万人の姫路市と同じようにはいきませんが、三木市ならではの、市民の顔が見えて、より身近な声が聞ける、地域の公民館での出前講座など啓発に向けた取り組みを更に充実させていこうと思いました。⇨運営委員 M



三木市男女共同参画センター登録グループ紹介

「女性」の元気を発信！ みず・(とっと) みきず

グループ名は「三木の元気な女性たち」の意味で、市内在住の女性達で結成し、はや10年を迎えました。当初は、男女共同参画センターを拠点に、「女性の抱える色々な問題」をテーマに話し合いをしていました。その後、「女性が生き生きと暮らすための生活の知恵」と題した連続のセミナーを開催、「男女共同参画を考える川柳募集」などの活動もしてきました。平成23年度からは三木市民活動支援事業に取り組み、読書会、DVD観賞会、老後を考えるセミナーなども実施しました。また女性の視点による三木の観光ルートを提案するために、日帰りモニターバスツアーで隠れた観光スポットを巡り、三木の美味しい処、楽しい処を再発見しています。興味のある方は代表の三田



「男女共同参画センター登録グループ」女性の社会的位置の向上や、男女共同参画社会の実現を目指した学習活動や女性の社会参加を促進し実践しています。

女性のための相談室

火・木 10:00~16:00
電話相談：面接相談（予約制）
☎0794-89-2331

こんな時は、ご相談ください

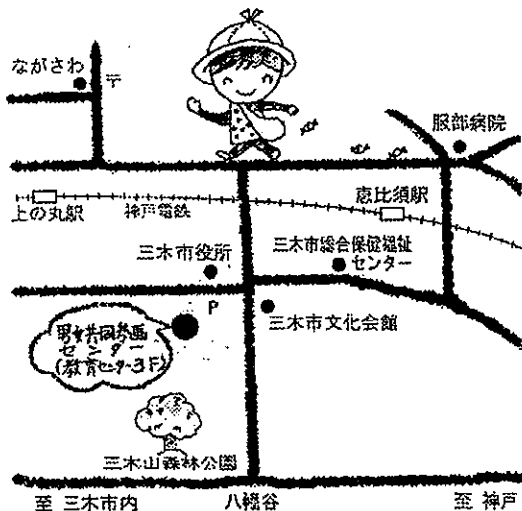
- ☆家族や友人関係がうまくいかない
- ☆子育てや介護に疲れた
- ☆夫や恋人の暴力に悩んでいる
- ☆職場の人間関係がしんどい
- ☆これってセクハラ？
- ☆これってパワハラ？ など

女性問題相談員が女性の立場に立ち、問題解決に向かえるようにサポートします。（相談は無料、秘密は厳守します）



三木市男女共同参画センター案内

神鉄恵比寿駅から徒歩10分、市役所前バス停からすぐ。



三木市男女共同参画センター (愛称こらぼーよ)

〒673-0433 三木市福井 1933-12

(三木市立教育センター3F)

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00~17:00

休館日 土・日・祝日・年末年始

E-mail: jinken@city.miki.lg.jp

ホームページや広報みきもご覧ください

あんな本こんな本

図書コーナーの本は、1人2冊まで貸し出ししています。

阪急電車

～片道15分の奇跡～

著者 有川 浩

幻冬舎 2010年8月発行

人はそれぞれ表面からは見えないが複雑な事情を抱えている中、電車で偶然に居合わせた女性達の人生が重なり合いそれが道しるべを見出していく爽快ストーリー。

映画「阪急電車」のDVDも貸出中です。



0~9歳 男の子のママへ

まじめなオチンチンの話

著者 矢島 暎夫

カンゼン 2011年7月発行

男の子の悩みにつきあうこと50年の泌尿器科医が、オチンチンのケア、構造、病気など、オチンチンのすべてを楽しくわかりやすく説明しています。男の子を持つ母親なら、一度は目を通しておきたい本です。かわいいイラスト付きで、すぐに読めますよ！



編集後記

入学式のシーズン、たくさんの出会いが生まれる春ですね。人との出会いはもちろんですが、良い本との出会いも大切です。学校図書 の充実を心から願っています。

編集委員 Y

企画編集：

情報誌こらぼーよ編集グループ

発行：

三木市男女共同参画センター